

東北地方 1 か月予報

(11月2日から12月1日までの天候見通し)

平成25年11月1日
仙台管区气象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

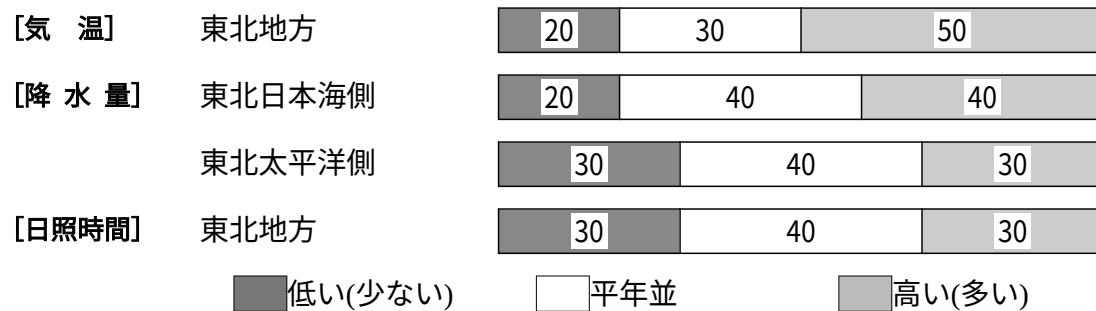
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

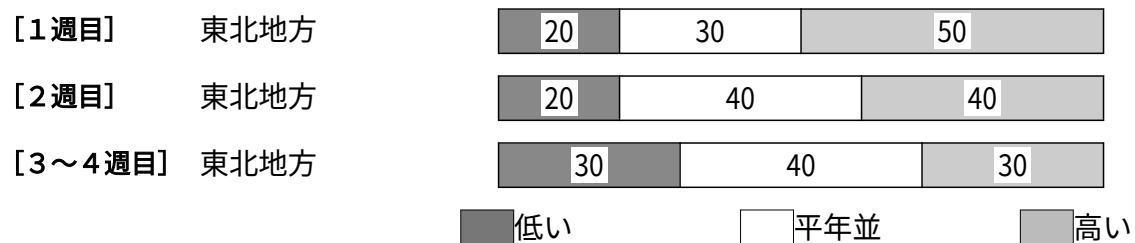
向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、東北日本海側で平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率50%です。2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 11月 2日(土) ~ 12月 1日(日)
1週目 : 11月 2日(土) ~ 11月 8日(金)
2週目 : 11月 9日(土) ~ 11月15日(金)
3~4週目 : 11月16日(土) ~ 11月29日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報 : 毎週金曜日 14時30分 次回は11月8日
3か月予報 : 11月25日(月) 14時

<参考資料（平年並の範囲等）>

（１）30年平均値（向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	6.6	136.5	85.6	9.3	7.6	5.2
深浦	7.5	145.4	64.3	10.1	8.4	6.1
むつ	6.3	113.1	101.9	8.9	7.3	5.0
八戸	6.7	58.8	133.2	9.4	7.7	5.3
秋田	7.7	180.8	81.6	10.2	8.7	6.4
盛岡	5.7	86.5	116.3	8.2	6.7	4.4
大船渡	8.2	90.9	134.9	10.5	9.1	6.9
宮古	7.7	77.4	148.1	10.0	8.6	6.4
仙台	9.2	61.6	140.0	11.6	10.1	7.9
石巻	8.4	64.9	147.7	10.8	9.3	7.0
山形	7.2	80.7	98.7	9.6	8.2	5.9
新庄	6.3	188.3	61.4	8.7	7.2	5.0
酒田	9.1	222.0	80.9	11.5	10.0	7.9
福島	9.0	61.7	128.7	11.3	9.9	7.7
若松	6.9	78.5	86.5	9.2	7.9	5.6
白河	7.6	66.9	145.3	9.9	8.5	6.4
小名浜	10.9	80.6	161.5	13.1	11.8	9.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1981～2010年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3～+0.6	81～112	96～106
東北日本海側	-0.3～+0.6	92～109	97～108
東北太平洋側	-0.3～+0.7	67～115	95～105

（３）この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.3～+0.8	-0.6～+0.9	-0.7～+0.6
東北日本海側	-0.3～+0.8	-0.5～+0.9	-0.7～+0.6
東北太平洋側	-0.4～+0.8	-0.6～+0.9	-0.7～+0.6

<参考資料（利用上の注意）>

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。

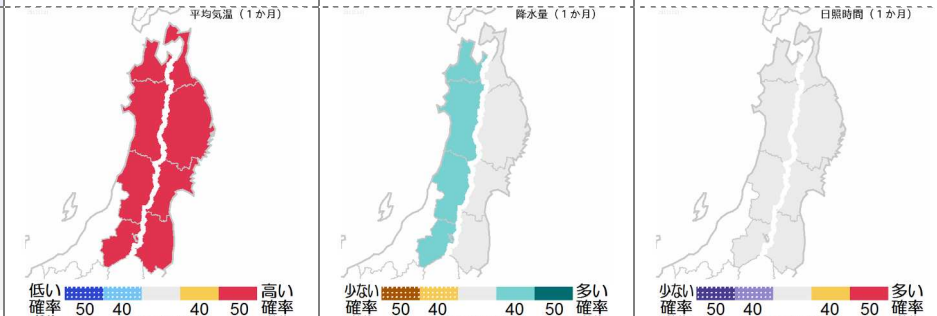
向こう 1 か月の天候の見通し 東北地方（11 月 2 日～12 月 1 日）

仙台管区気象台

予報のポイント

- 期間の前半は暖かい空気が流れ込みやすく、1 週目は気温が高いでしょう。2 週目は気圧の谷の通過前後の気温の変動が大きく、気圧の谷の通過後の寒気の影響で雪が混じる可能性があります。
- 期間の前半を中心に気圧の谷の影響を受けやすく、東北日本海側の降水量は平年並か多くなる見込みです。
- 東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

1 か月の平均気温・降水量・日照時間

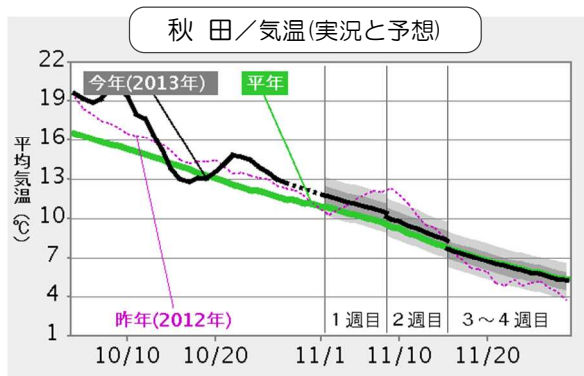
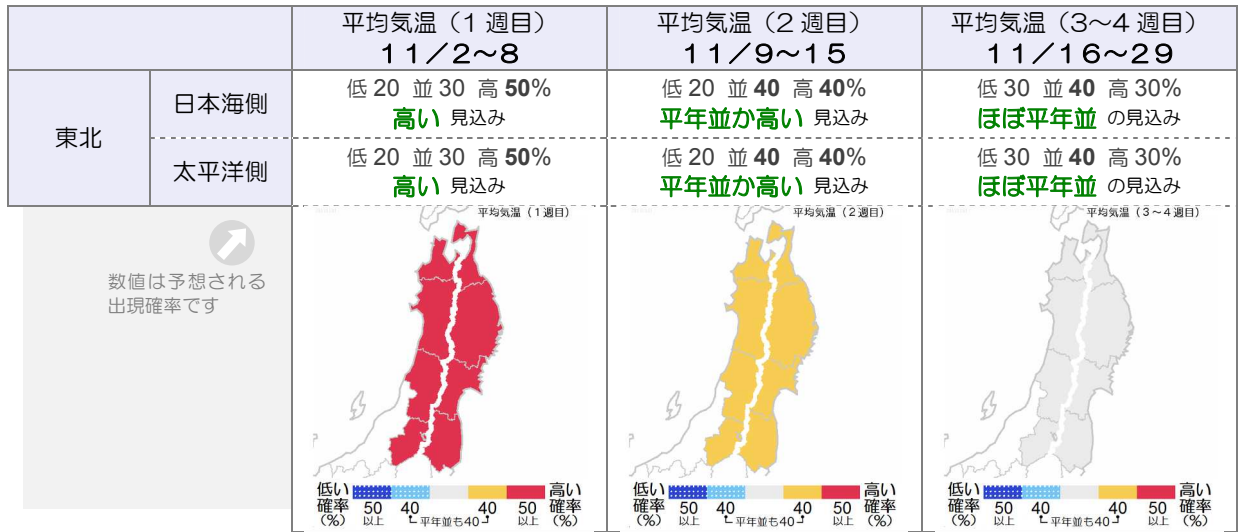
		平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）
東北	日本海側	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み
 数値は予想される出現確率です		平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）
		低い確率 (%) 50 40 以上 平年並 40 高い確率 (%) 50 40 以上	少ない確率 (%) 50 40 以上 平年並 40 多い確率 (%) 50 40 以上	少ない確率 (%) 50 40 以上 平年並 40 多い確率 (%) 50 40 以上

週別の天候

(1 週目) 11/2～8	(2 週目) 11/9～15	(3～4 週目) 11/16～29
高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷や寒気の影響で、期間のはじめと終わりに曇りや雨となる日があるでしょう。 気温は高い見込みです。 ※詳しくは、週間天気予報をご覧ください。	気圧の谷の通過前後で気温の変動が大きい見込みです。東北日本海側では気圧の谷や寒気の影響で平年と同様に曇りや雨の日が多く、雪が混じる可能性があります。東北太平洋側では気圧の谷の影響は小さく、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	冬型の気圧配置となる日が多い見込みです。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「確率予報の解説表」をご覧ください。

週別の平均気温



ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、
気象庁ホームページ

<http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php>
で公開しています。

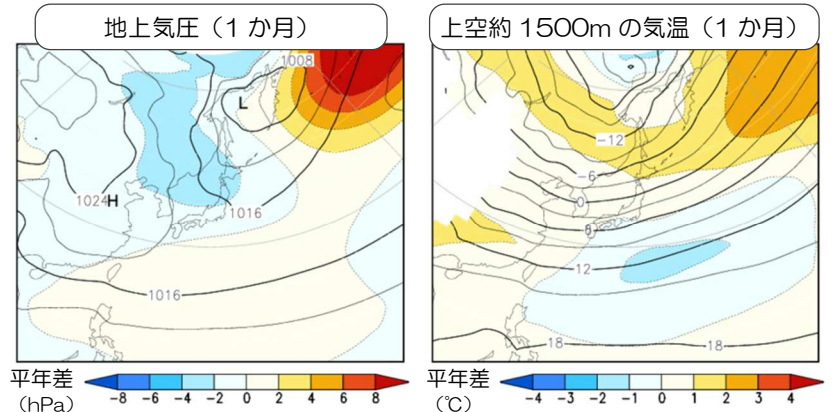


予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が 40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は 7 日平均気温です。

数値予報モデルによる予測結果

地上気圧は、日本付近から西は負偏差、アリューシャン近海は正偏差となります。冬型の気圧配置が見られますが、平年より弱いでしょう。期間の前半を中心に気圧の谷の影響を受けやすく、東北日本海側の降水量は平年並が多い見込みです。

上空約 1500mの気温は、日本の南で負偏差、日本付近は正偏差となります。期間の前半は暖かい空気が流れ込みやすく、東北地方の気温は高くなるでしょう。



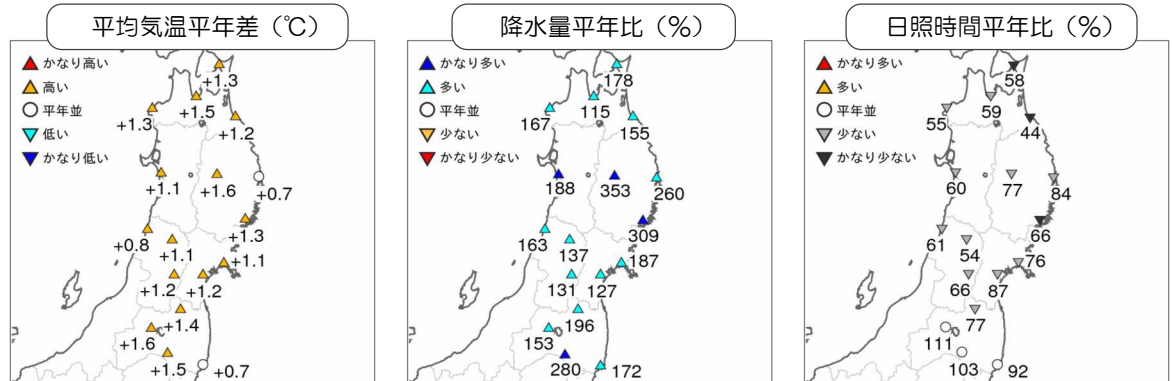
季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上記の図）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況）

10/25~31

この期間、低気圧や気圧の谷が北日本を通過し、その後は寒気の影響を受けたため曇りや雨の日が多くなりました。期間のはじめと終わりは暖かい空気が流れ込み気温は高くなりました。25日から26日にかけては、日本海北部の低気圧と関東沖を北東に進んだ台風第27号の影響で、各県で大雨となりました。27日は冬型の気圧配置となり山形県で大雨となった所がありました。30日は気圧の谷が通過し秋田県と山形県で大雨となった所がありました。

平均気温は高くなりました。降水量は東北北部でかなり多く、東北南部で多くなりました。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で少なくなりました。



(実況) 10/25~31	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
東北地方	+1.2°C (高い)	192% (多い)	72% (少ない)
東北日本海側	+1.2°C (高い)	151% (多い)	67% (少ない)
東北太平洋側	+1.2°C (高い)	222% (多い)	76% (少ない)
東北北部	+1.3°C (高い)	216% (かなり多い)	63% (かなり少ない)
東北南部	+1.2°C (高い)	172% (多い)	81% (少ない)

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)
東北地方	平年差: -0.3~+0.6°C	平年比: 81~112%	平年比: 96~106%
東北日本海側	平年差: -0.3~+0.6°C	平年比: 92~109%	平年比: 97~108%
東北太平洋側	平年差: -0.3~+0.7°C	平年比: 67~115%	平年比: 95~105%
秋田	7.6~8.5°C	150.8~176.0mm	71.8~87.0 時間
仙台	9.1~10.1°C	33.0~64.5mm	122.3~136.9 時間

	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3~4 週目)
東北地方	平年差: -0.3~+0.8°C	平年差: -0.6~+0.9°C	平年差: -0.7~+0.6°C
東北日本海側	平年差: -0.3~+0.8°C	平年差: -0.5~+0.9°C	平年差: -0.7~+0.6°C
東北太平洋側	平年差: -0.4~+0.8°C	平年差: -0.6~+0.9°C	平年差: -0.7~+0.6°C
秋田	9.8~11.0°C	8.0~9.6°C	5.9~7.0°C
仙台	11.1~12.4°C	9.6~11.0°C	7.4~8.6°C

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981~2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
秋田	8.4 日	16.6 日	2.7 日	3.9 日	2.3 日	4.2 日	3.4 日	8.5 日
仙台	16.8 日	5.7 日	4.2 日	1.5 日	4.1 日	1.5 日	8.5 日	2.7 日

「晴れ日数」は「日照率 40% 以上」の日数であり、「降水日数」は「降水量 1 mm 以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率	（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解 説
高い（多い）確率が 50% 以上		高い（多い）見込み
(20:40:40)		平年並が高い（多い）見込み
平年並の確率が 50% 以上		平年並の見込み
(40:30:30) (30:40:30) (30:30:40)		ほぼ平年並の見込み
(40:40:20)		平年並が低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が 50% 以上		低い（少ない）見込み